

カリキュラム区分		3カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M307	1年	後期	医療技術科学	選択	分子細胞生物学演習 Seminar in Molecular Genetics	60	2
担当教員								
松村 美紀								
関連するDPキーワード（看護学専攻）								
① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）								
<input type="radio"/> ① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
<input type="radio"/> ② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
<input type="radio"/> ③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的								
<p>生命科学分野において研究推進のための情報収集および自らの成果報告に英文学術論文は必須のツールである。英語学術論文読解力と背景専門知識を身につけることを目的とし、専門誌から分子細胞生物学の論文を選び、解説を加えて紹介を行う。</p> <p>さらに内容の理解だけでなく、批判的に読みこなす訓練を進め、自ら研究を実施し、論文を書く準備とすることも目的とする。</p>								
到達目標（授業目標）								
<p>① 自身の研究推進のために必要な学術論文を検索できる。</p> <p>② 英文学術論文を読みこなせる。</p> <p>③ 英文学術論文の内容を他者に説明できる。</p>								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								

授業概要	<p>第1～2回 分子生物学分野の英文学術論文のコピーを予習のため配布し、演習全体の心得や準備、検索の仕方について解説する。</p> <p>① 当該論文のタイトルとイントロダクションについて、論文分野の背景状況、解決すべき重要な問題、この論文の目的・目標、解決への手段、得られた結果の価値等を解説する。 ② 方法・材料の部では、研究に使われている材料の背景と選択理由、使用技術・方法の原理と限界、具体的操作手順、その方法で分かることと分からないことを含めて解説する。 ③ 結果の部では、得られた結果から言えることと言えないことを厳密に区別し、結果の妥当性を客観的・批判的な目で評価できるように、学生にも考えさせながら解説する。 ④ 最も著者の主張が出る考察の部では、論文の背景としての既知事実、未知事実、懸案事実等をもとに、本研究で明らかになったことが、当該研究分野へどのような意味や価値を持つのか解説する。</p> <p>第3～30回 学生自身が2コマで一報の英文学術論文を読み、プレゼンテーションを行うことを14セット行う。</p> <p>その中で、学生が自らの興味で選択した論文を読み、解説を行うことを促し、周りからの質問、批判を受けることにより、読み込んでいる点、理解していない点を明確にしていく。また、読みとるべき要点を適切かつ効率的に拾いあげることになれるように進める。</p> <p>最終的には、学生自らによる読解と解説が大部分となり、教員による解説の必要性が減少することを期し、自ら研究し論文を書く準備とする。さらに学生自らが読解・解説することにより、論文内容に対する批判的な目を養う。</p>
	成績評価方法及び基準
	授業時の発表内容 (5% x 13セット+最終プレゼンテーション35%)。トータル60点以上を合格とする。

成績評価方法及び基準

授業時の発表内容 (5% x 13セット+最終プレゼンテーション35%)。トータル60点以上を合格とする。

教科書	
-----	--

参考図書等	
-------	--

授業時間外の学習について (授業準備のための指示)

事前に配布される英文の学術論文、または必要に応じて論文検索を行い、自分で選択した論文を詳細に読み、理解し、プレゼンテーションの準備を行う。

関連科目

前科目	M306	分子細胞生物学特論							
後科目									

実務家教員

備考	
----	--